

- ・ 4月24日(日)、近畿地方整備局・和歌山県・那智勝浦町主催で「大規模土砂災害対策技術センター入所・和歌山県土砂災害啓発センター竣工」記念式典が、現地(那智勝浦町)で挙行され、約450名が参加しました。
- ・ 来賓の方からは、この地を拠点として、今後の土砂災害に関する啓発活動や、活発な研究活動を期待するとの激励をいただきました。

■主な出席者

- ・ 二階俊博 衆議院議員、鶴保庸介 参議院議員
- ・ 前芝雅嗣 和歌山県議会議長
- ・ 綿貫民輔 全国治水砂防協会会長
- ・ 丸谷知巳 北海道大学教授、千木良雅弘 京都大学教授、此松昌彦 和歌山大学教授

■主催者

- ・ 山田邦博 近畿地方整備局長
- ・ 仁坂吉伸 和歌山県知事
- ・ 寺本眞一 那智勝浦町長



式典会場の様子

二階衆議院議員祝辞

- ・ 皆様のご苦労のおかげで、今日、この地に立派な研究拠点ができあがった。
- ・ 再び平成23年のような災害が起こらないようにするために、どのようなことが必要か考え、那智勝浦に研究所を作るべきだと考えた。
- ・ 他県、他国の人と同じ目に遭わないように、我々は努力してかなければならない。



山田局長の挨拶(上)
黒川センター長からの研究成果報告(下)

鶴保参議院議員祝辞

- ・ 私たち自身が平成23年の水害で経験したことをしっかりと後世に伝えていくことが重要。
- ・ このセンターが、そのような情報発信の基地になればと考えている。
- ・ 今日の日を、改めて防災への取り組みを進めるスタートの日にしたい。



テープカットの様子

仁坂和歌山県知事挨拶

- ・ H23年の災害では和歌山県で土砂災害で犠牲者が出たが、犠牲者をゼロにするには土砂災害に関する知見の蓄積が重要。
- ・ そのためには、土砂災害がどのようにして発生し、また発生した際にどのように避難するかを研究して世界に向けて発信してほしい。



来賓内覧の様子(右)

寺本那智勝浦町長挨拶

- ・ 土砂災害に関する啓発や研究を行う拠点となるこのセンターは町が経験した災害の記憶をとどめ、訪れる方に伝えることや今後の防災対策を打ち出すことができる施設となることを期待している。
- ・ 町としても子供たちや地域の方への防災教育にこの施設を利用・活用したい。



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
河川部 河川計画課
〒540-8586 大阪市中央区大手前1丁目5-44
TEL 06-6945-6355

